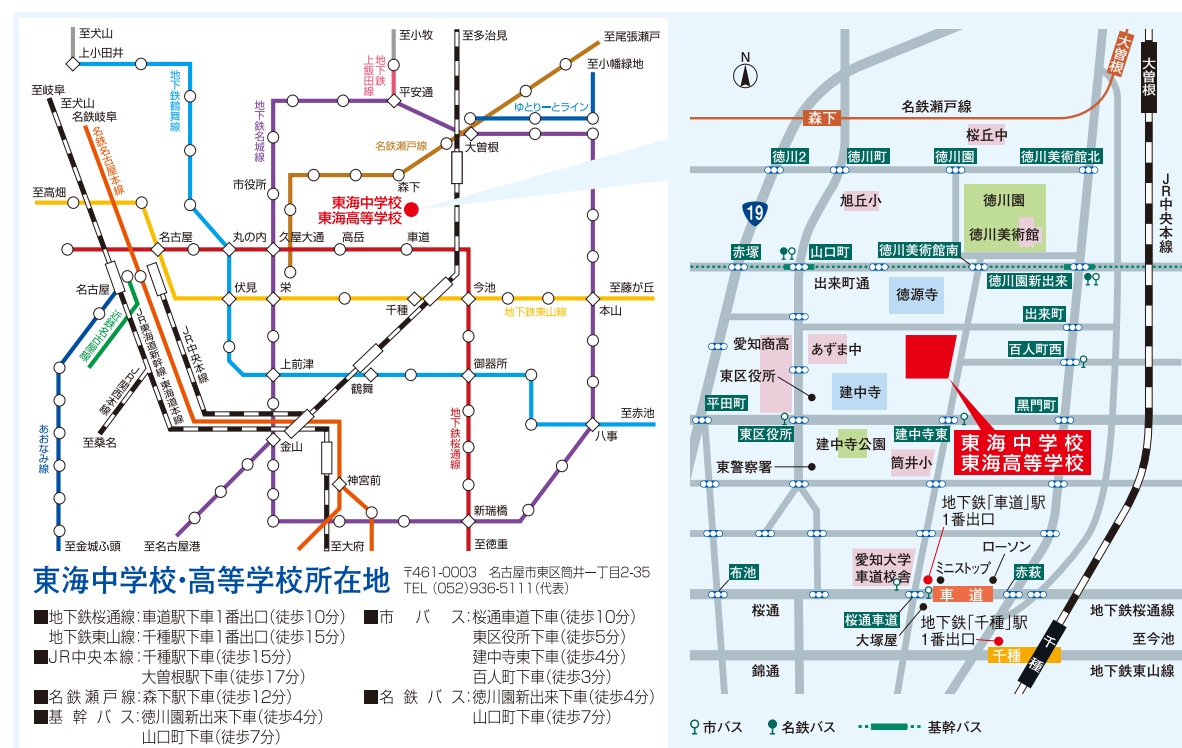




強く、
賢く、
まっすぐに。



www.tokai-jh.ed.jp



東海高等学校 〒461-0003名古屋市東区簡井一丁目2-35 TEL (052)936-5111(事務局)・5112(高校直通)FAX (052)936-5195

東海中学校 〒461-0003 名古屋市東区簡井一丁目2-35 TEL (052)936-5114

東海学園高等学校 〒468-0014 名古屋市天白区中平二丁目901 TEL (052)801-6222

東海学園大学 ●名古屋キャンパス/人文学部・教育学部・健康栄養学部 〒468-8514 名古屋市天白区中平二丁目901 TEL (052)801-1201

●三好キャンパス/経営学部・スポーツ健康科学部 〒470-0207 愛知県みよし市福谷町西・洞21-233 TEL (0561)36-5555

東海高等学校
学校案内 2027

どこまでも志高く、未来へ。

東海高校は、明日のリーダーとなるべき人材育成の先進校として

常に時代を見据えた高校教育の革新を続け、

1888年の創立以来、45,000人を越える卒業生を送り出しています。

「自由と自立」の精神のもと、生徒の意思を最大限に尊重した自主性教育で

次代を切り拓く真の力を養い、生徒一人ひとりの個性や才能を

存分に発揮できる飛躍のステージへと全力で導いています。

130余年の伝統を礎とする東海高校が、

日本を担う人材教育のさらなる革新を行います。



東海中学校・高等学校校長
近藤 辰巳

本校が大学進学において高い実績をあげていることは広く認められております。しかし、三綱領に基づいて宗教的的信念を持ち、他の人々の痛みを知ることのできる、豊かな感性を持った人間教育を行っていることは案外知られておりません。単なる物知りをつくるのではなく、複雑な現代社会に対処していける問題解決能力を持ち、世界に通用する有要な社会人に育てることを目指しております。

三綱領

1. 明照殿を敬い信念ある人となりましょう
2. 勤儉誠実の校風を尊重してよい個性を養いましょう
3. 平和日本の有要な社会人となりましょう

沿革

1888年 浄土宗学愛知支校として西蓮寺
(現名古屋市東区東桜2)内に創立

1899年 車道校舎(現校地)に移転

1901年 忠魂祠堂(明照殿の前身)を創建

1909年 東海中学校となる(設立者 浄土宗管長 山下現有)

1911年 知多郡大野にて水練会はじまる

1913年 椎尾辨匡 第2代校長に就任



初代 武田芳淳 校長



旧本館【大正時代】

1916年 忠魂祠堂を明昭殿と改称
この頃 校訓「勤儉誠実」確立

1922年 校歌制定

1931年 大講堂完成

1947年 新制東海中学校発足
明昭殿を明照殿と改称

1948年 新制東海高等学校発足



旧明照殿

1955年 水練会 伊勢二見に定着

1980年 新しい明照殿完成

1989年 百志館(図書会館)完成

2001年 高校新校舎完成

2006年 新体育館・プール等
体育施設完成

2007年 中学新校舎完成

2008年 創立120周年記念式典



3年後と、
その先を見据えて。

大学進学を目標とした、充実した学習指導

本校は、「大学進学への可能性を広げるための学力養成」と「充実した学校生活を通じた人間的成長」の両方を目標にしてカリキュラムを構築しています。また、2022年度施行の新学習指導要領に合わせて、目まぐるしく変化する社会で求められる学力の定着を目指します。高校2年生からは、授業の理解度を高め、志望大学の受験科目を選択しやすくするため、文系・理系コース別および習熟度別でのクラス編成を行っています。コースや授業の選択にあたっては、本校オリジナルの冊子「大学をどう選ぶか」を使い、生徒の意志や志望大学を十分考慮した上でガイダンスを行います。大学受験を間近に控えた高校3年生では、年4回の本校独自作成の模擬試験や夏期講習・冬期講習に加えて、生徒の志望大学に合わせて小論文や記述式問題の添削指導をきめ細やかに行っています。もちろん、日頃から生徒の質問に丁寧に対応できる体制も整えています。こうした指導により、生徒たちは入試本番だけでなく、その先でも通用する学力を養成していきます。



授業風景



英会話

グローバル化を見据えた教育

本校では、世界の舞台で多様な価値観に出会い、共生の精神を涵養するため、多彩な英語教育及び海外研修を実施しています。ネイティブの外国人教師による少人数の英会話授業、大学入試の先を念頭に置いたライティング指導、多様な音声素材を用いたリスニング練習などを通じて、語学力のみならずそれを支える思考力全般を育成しています。また、外部の資格・検定試験の受験機会を提供することで、英語運用力の伸びを確かめることができます。さらに、夏と春の長期休暇を利用した海外研修では、異なる背景を持つ留学生たちと活発に交流して英語力を磨くだけでなく、現地の大学訪問や企業でのプレゼンテーションに取り組むことで、問題解決能力やリーダーシップを養う機会も提供しています。

社会に広がる学校行事

年2回実施されるサタデープログラムは、生徒による実行委員会が主体となって企画・交渉を行う土曜公開講座です。毎回50講座程開講される講座の中には、企業のトップや著名人などを講師に招いた話題のセミナーも数多く、来校者数が5000人を超えています。また9月に行われる創立記念祭(文化祭)は、来校者数が二日間で10000人以上となる本校で最も大きなイベントとなっています。こちらも企画・運営は生徒の実行委員会が担当します。クラスの演劇やパフォーマンスといった企画に加え、部活動の様々な発表や展示、音楽祭やプレゼンテーションイベントなど多種多様な企画がすべて生徒主体で行われ、社会でプロジェクトを進める上で大きな経験となります。さらに高校1年生の秋に実施する研究&仕事紹介講座は、研究者やビジネスパーソンを招いて進路選択の視野を広げています。世界で活躍する研究者の話の聞いたり、社会で活躍するOBの話の聞いたりするなかで、自らの進路をしっかりと考える機会も設けています。



共に歩めば、
友情も深まる。

生徒の自主運営で行われる創立記念祭をはじめ、さまざまな学校行事を通して、自主性や協調性、社会性を養います。

4月

**入学式
新入生歓迎会**

**知恩院オリエンテーション
(高校からの入学者)**

浄土宗総本山に一泊して、建学の精神について学ぶとともに親睦を深めます。

5月

**ウエサカ(お釈迦様のまつり)
レクリエーション大会**

クラス対抗でサッカー、バレーボール、ドッジボール、バスケットボール、オセロ等の競技を行います。



6月

修学旅行(2年生)



**遠足(1・3年生)
芸術鑑賞**

サタデープログラム

(土曜市民公開講座)

社会の先端で活躍する方々を講師にお招きし、一般市民を対象として、毎回50以上の講座を開講しています。およそ5,000人以上の参加者があります。約200人の生徒実行委員により運営されます。

7・8月

**アカデミックキャンプ
(1・2年生希望者)**

何人かの教員がゼミを開講し、教科書にとられない学問の面白さ・奥深さに触れ、探究活動を繰り広げる企画です。

**海外研修
スコットランド
ハワイ(1年生希望者)**



9・10月

創立記念祭(体育祭・文化祭)

体育祭と文化祭からなる創立記念祭。体育祭は、クラス単位でサッカー、バレーボール、クラス対抗リレーなどで競い合います。本校のメインイベントとも言える文化祭は、各クラスや有志による演劇や出し物、音楽祭など多彩な企画で盛り上がります。



11月

研究&仕事紹介講座(1年生)

研究者やビジネスパーソンから直接話を伺う講座です。10講座程の中から好きな講座を選択し、100分の講義を聴いてより良い将来選択をする参考にしていきます。

12月

**卒業授戒会
(仏式による成人式)(3年生)**

仏の光を心に灯し、五戒を心に刻み、勤儉誠実に生きることを誓います。



スキー実習(1年生希望者)



1月

御忌

宗祖法然上人の御命日。

2月

サタデープログラム



3月

卒業式



**海外研修ニュージーランド
(1年生希望者)**

**海外研修アメリカ
(1・2年生希望者)**

情熱を糧に、自分を高める。



クラブ一覧

体育部

- 野球部
 - バスケットボール部
 - テニス部
 - バレーボール部
 - サッカー部
 - 卓球部
 - 水泳部
- 陸上競技部
 - 山岳部
 - 柔道部
 - 剣道部
 - 弓道部
 - アーチェリー部
 - ハンドボール部
 - バドミントン部
- ラグビー部
 - スキー部
 - フンダーフォーゲル部

学芸部

- 文芸部
- 演劇部
- 映画研究部
- 社会研究部
- 合唱部
- オーケストラ部
- 吹奏楽部

書道部

- 書道部
- 美術部
- 生物部
- 地学部
- 電波科学研究部
- 宗教研究部
- 図書部

写真部

- PFC部
- ESS部
- 将棋部
- 漫画研究部
- 放送委員会
- ジャグリング部

同好会

- 交通研究
- 第二外国語研究
- 釣り
- 模型研究
- ビーチバレー
- 数学研究
- クイズ研究
- ボクシング



オーケストラ部



弓道部



テニス部



吹奏楽部

主な実績

【柔道部】全国大会に団体で通算41回出場。うち団体優勝1回、準優勝1回、3位4回。個人優勝2回、準優勝1回、3位3回。東海総体団体優勝21回、個人優勝7回。【剣道部】全国大会に通算16回出場。国体に8回出場。【テニス部】昭和28年より全国大会に通算42回出場。うち優勝2回、準優勝5回、3位18回。昭和54年第1回全国高校選抜大会で第3位、以後14回出場。令和2年全国私立高等学校選手権に出場。【弓道部】全国大会9回出場。うち準優勝1回。全国高校選抜大会9回出場。うち団体5位1回、国体2回出場。【ハンドボール部】平成9年度全国高等学校選抜大会に出場【バドミントン部】昭和57年の団体第5位を最高に、全国大会に通算15回出場、うち団体5位1回。最近では平成9年団体出場。世界大会5回出場。全国高等学校総合体育大会に団体で5回出場(3位(平成24年)、4位(平成23・27年)、5位(令和4年))。全国高等学校選抜大会18年連続出場(～令和6年、優勝(令和5年)、2位(令和4年)、3位(平成26年))。本校OBが2020東京オリンピックに出場し、男子団体で銅メダルを獲得。【陸上競技部】全国大会に平成17、18年1500Mで出場、平成25年に三段跳出場、全国ジュニアユース大会に平成23年100Mで第8位。【フンダーフォーゲル部】2018～2020年度全国中学校高等学校オリエンタリング選手権大会高校個人戦3年連続優勝、2020年度同団体戦優勝(11回目)。【水泳部】全国大会に昭和53～55年、平成22～23、29年、令和3～4年に出場。平成23年には個人4位入賞。国民体育大会に昭和53年、平成22～23年に出場。【映画研究部】「高校生のための eiga worldcup」2022年『東海仮面シュレッカー』最優秀美術賞、2023年『人間は考える葦である』入選、『夕陽の山賊たち』最優秀美術賞、優秀企画賞【図書部】平成30年、令和2年全国高校ビブリオバトル決勝大会出場【囲碁・将棋部】全国大会出場実績多数。個人戦優勝経験あり。団体戦全国優勝4回、準優勝3回、3位2回。令和3年個人戦全国優勝、平成12年個人戦全国優勝。平成15年西日本学生将棋大会団体戦優勝。【放送委員会】昭和36年～平成4年、NHK杯全国高校放送コンテスト、全国大会に連続出場。うち優勝1回、準優勝1回、3位3回。民放全国高校放送コンクール最優秀賞1回。【ESS(ディベート)】全国中学校高校ディベート選手権(ディベート甲子園)に通算27回出場し、うち優勝4回、準優勝9回、3位3回、ベストディベーター賞5回。全国高校生英語ディベート大会に通算7回出場し、うち3位1回、優秀ディベーター賞2回。日本高校生パラメンタリーディベート連盟杯全国大会に通算8回出場。PDWC2020高校生パラメンタリーディベート世界交流大会第3位。【ジャグリング部】日本高校生ジャグリングフェスティバルでチーム優勝3回、準優勝1回、個人準優勝1回。大阪国際ディアロ競技会2017優勝。【社会研究部】日本倫理哲学グランプリ金賞、国際哲学オリンピック日本代表選出【第二外国語研究会】日本語言語学オリンピックに通算6回出場。うち金賞9名、銀賞12名。うち2名がアジア太平洋言語学オリンピックにて金賞と銀賞を受賞。第21回第22回国際言語学オリンピックともに銀賞を受賞。

先を歩む、夢の体現者たち。

社会で輝く、多数の卒業生たち

東京大学や京都大学をはじめ、慶應義塾大学や早稲田大学など、国公立・私立ともに全国トップクラスの難関大学へ、毎年多くの先輩たちが合格しています。なかでも医学部医学科への進学率は、全国的にみても他校に比べて高い実績を誇っています。また、卒業生の多くが進むべき道へ輝かしい飛躍を遂げ、日本が誇るスペシャリストとして活躍しています。東海高等学校の学習環境の充実度と、人間性豊かな人材を育てる教育力に対して、社会からも高い評価を得ています。生徒が夢をみつけ、東海高等学校という場を生き、その先に進むために、一人ひとりに合わせたサポート体制を整え、夢の実現を支援しています。

東海高等学校大学進学実績

令和8年度(2026年度)主な大学の合格者数
()は医学部医学科合格者数

大学名	令和8年度	過去5年間
東京大学	34(2)	162(16)
京都大学	33(7)	151(18)
名古屋大学	50(27)	278(157)
北海道大学	12(2)	57(7)
東北大学	6(3)	23(10)
一橋大学	9	24
東京科学大学	10(1)	31(4)
名古屋市立大学	11(6)	89(54)
岐阜大学	6(5)	65(39)
三重大学	14(8)	48(31)
大阪大学	8(3)	43(12)
国公立大学合計 (除 大学院)	297(109)	1478(552)
慶應義塾大学	68(13)	330(36)
早稲田大学	105	433
私立医大合計	100	512

令和8年度(2026年度)の左記以外の主な大学合格者数
()は医学部医学科合格者数

国立大学
秋田大学 1(1) 筑波大学 2 埼玉大学 1 千葉大学 1(1) 電気通信大学 2 東京芸術大学 1
横浜国立大学 8 新潟大学 2(1) 富山大学 2(1) 金沢大学 6(4) 福井大学 4(3) 山梨大学 5(5)
信州大学 6(3) 静岡大学 5 浜松医科大学 3(3) 名古屋工業大学 5 滋賀大学 1 滋賀医科学
大学 2(2) 神戸大学 5(2) 岡山大学 4(3) 広島大学 1(1) 山口大学 2(2) 徳島大学 1(1)
愛媛大学 2(1) 九州大学 4 佐賀大学 2(1) 長崎大学 1 大分大学 2(1) 鹿児島大学 3(2)
琉球大学 2(2)
公立大学
福島県立医科大学 1(1) 高崎経済大学 1 横浜市立大学 1(1) 公立諏訪東京大学 1 静岡
県立大学 1 名古屋市立大学 11(6) 京都府立医科大学 1(1) 大阪公立大学 10(1) 奈良県立
医科大学 1(1)
大学校
防衛医科大学校 10(10) 防衛大学校 1 気象大学校 1
私立大学
東京理科大学 107 立命館大学 88 同志社大学 70 名城大学 64 明治大学 62 藤田
医科大学 49(49) 中央大学 40 近畿大学 29(3) 上智大学 25 愛知医科大学 19(19) 法政
大学 14 青山学院大学 13 立教大学 13 愛知学院大学 12 中京大学 12 南山大学 12 関西
医科大学 12(12) 関西学院大学 12 龍谷大学 11 関西大学 11 千葉工業大学 10 日本大学 10
豊田工業大学 10 芝浦工業大学 8 愛知大学 7 東京農業大学 6 駒澤大学 5 成蹊大学 5
愛知工業大学 5 佛教大学 5 東京慈恵会医科大学 4(4) 武蔵野美術大学 4 福岡大学 4(1)
国際医療福祉大学 3(3) 東海大学 3(1) 日本医科大学 3(3) 明治学院大学 3 大阪医科薬科
大学 3(3) など
海外の大学
The University of Sydney など

全国屈指の教育環境が生んだ人材

45,000人を超える同窓生は様々な分野で活躍しています。また、東海生は卒業後も活発な同窓会によって深い心の絆で結ばれています。政界における第76代内閣総理大臣の故海部俊樹氏、元愛知県知事の神田真秋氏、医学界の斎藤英彦氏、実業界の安井義博氏、加藤武氏、法曹界の高須宏夫氏、ニュースキャスターの木村太郎氏(高校から入学)、フィールズ賞受賞数学者の森重文氏、元NHKアナウンサーの三宅民夫氏、直木賞作家の大沢在昌氏、予備校講師の林修氏など、枚挙に暇がありません。



故 海部俊樹氏
旧中38回卒



木村太郎氏
新高9回卒



森 重文氏
新高21回卒



三宅民夫氏
新高23回卒



大沢在昌氏
新高26回卒



林修氏
新高36回卒